


その手から、小国川へ。



人と川をつなぐ新たな拠点
 最上小国川河川公園
 「アベッス」オープン

広報 **Mogami** もがみ / 広報もがみ 令和8年6月号

発行/山形県最上町総務企画課まちづくり推進室
 ホームページ <https://town.mogami.lg.jp>

印刷  合同会社 クロスプランニング
 〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町 644
 TEL 0233-43-2111 FAX 0233-43-2345

清流に刻め 青春の軌跡
夏を釣り上げろ!



令和8年
8月2日
**第7回 最上小国川
 鮎釣り甲子園大会**

上位入賞者に豪華景品!

会場 山形県最上町 最上小国川河川公園 **アベッス**
 問合せ 最上小国川鮎釣り甲子園大会実行委員会 事務局
 TEL 0233-29-1238 (最上総合支庁 総務課 連携支援室内)
 (主催) 最上小国川鮎釣り甲子園大会実行委員会【後援】山形県教育委員会



参加費無料!
 参加賞あり!
 初心者OK!

お申込み 該当する申込フォームからお申込みください。

最上地域
 の高校生 →



最上地域以外
 の高校生 →



アベッスってどんなところ？

広い芝と河川敷が広がる開放的な空間。堤防から河川まで約50mのゆとりがあり、自然を感じながら安心して過ごせます。

芝の広場



！ 広場に降りる際は十分にご注意ください



道幅が狭く、見通しの悪い場所がございます。速度を落とし、歩行者や対向車に十分注意してご通行ください。また、河川公園の道路および駐車場については一方通行となりますのでお気を付けください。

仮設トイレ



仮設トイレ2基を設置しています。

駐車場



50台程度の駐車スペースを設置しています。なお、駐車場内も一方通行です。

芝無しのエリア



芝が無いエリアでは直火ができます。芋煮会やバーベキューなどで是非お使い下さい。

アベッス使用上の注意

みんなが気持ちよく利用できるように、ご協力をお願いいたします。



ゴミは必ず持ち帰りましょう



芝の広場での直火は絶対にやめましょう！

ペットのフンは必ず持ち帰りをお願いします



エリア内は一方通行です。他の利用者の迷惑にならないようにしましょう。

人と川をつなぐ、新たな交流拠点が誕生！

最上小国川河川公園

「アベッス」オープン

2026年
5月27日
オープン！



公募で決まった名称「アベッス」

全国から362件の応募が寄せられた中から、

町内在住（月楯地区）

大沼 幸子さんが考えた「アベッス」に決定しました！

「子どもから高齢者まで、気軽に「あべ！（行こう！）」と言われてもらえるような公園であってほしい。そして、この公園を通して人と人とのつながりを育む温かい公園であってほしい」そんな思いが込められています。

応募総数
362件
(全国から)



最上小国川河川公園 オープニングセレモニー

人と川、人と人、そして未来へ。



5月27日に開催されたオープニングセレモニーでは、公園愛称の公募で最終選考まで残った5名の応募者を表彰し、公園の完成と新たな門出を祝いました。また、町内の園児たちによる鮎の稚魚約2千匹の放流も行われました。子どもたちはバケツいっぱいいの稚魚を手に、最上小国川へ向かい、「大きくなれー」のかけ声のもと、川へ放流し、元気に泳ぎ出す様子を興味深そうに見つめていました。最上小国川は、古くから地域の暮らしや文化を支えてきた町の大切な財産です。今回の放流には、豊かな自然の恵みや川との関わりを次の世代へつないでいきたいという願いも込められています。「アベッス」という愛称には、「あべ！（行こう！）」と気軽に声を掛け合いながら、多くの人が集い、人と人とのつながりを育む場所になってほしいという思いが込められています。これから季節ごとさまざまな風景を見せる最上小国川とともに、「アベッス」が町民の憩いと交流の場として親しまれ、未来へ受け継がれていくことが期待されます。

畑で育つのは、作物だけじゃない。



発足から4年目を迎えた畑楽会。活動を続ける中で育まれてきたのは、作物の収穫だけではなく、世代を超えた信頼関係と地域の絆でした。

子どもたちの笑顔を見守りながら、自らも元気をもらおう皆さん。そして、その姿を当たり前のように受け入れ、親しみを持って接する子どもたち。そこには、これからの地域づくりに必要なヒントが詰まっています。

秋には、みんなで植えたサツマイモの収穫が待っています。収穫したサツマイ

未来へ残したい取組

また、この活動は子どもたちを地域全体で見守る環境づくりにもつながっています。顔見知りの大人が増えることで、地域への親しみや安心感が生まれ、子どもたちにとっても「自分たちを気にかけてくれる人がある」という心強さになります。



モを囲みながら交わされる「おいしいね」の一言もまた、地域のつながりを深める大切な時間になることでしょう。

畑楽会の取り組みは、地域の未来を育てる活動として、これからも大堀地区に温かな実りをもたらしていきます。

代表の
奥山征一郎さん



に聞きました

「おいしいね」と食べる日を楽しみに

どこの集落でも子どもが少なくなっています。でも、だからこそこうした活動は必要だと思っています。

高齢になると家にいる時間も増えますが、子どもたちとコミュニケーションを取ることによって元気をもらえるんです。今日はサツマイモを植えました。秋に収穫して子どもたちと「おいしいね」と言いながら食べるのが今から楽しみです。

畑を楽しみ、
人をつなぐ。



「大堀小学校畑楽会」 畑で育つ、 地域のつながり

畑を楽しむ会、それが「畑楽会」。大堀地区の有志が集まり子どもたちと一緒に畑づくりを楽しみながら地域を盛り上げています。

畑から始まる交流の種

6月4日、大堀小学校でサツマイモの苗植えが行われました。子どもたちに植え方を教えていたのは、大堀地区で活動する「大堀小学校畑楽会（略称：畑楽会）」の皆さんです。

畑楽会は「畑を楽しむ会」を意味します。大堀小学校学校運営協議会が学校へのサポートを呼びかけたことをきっかけに、大堀地区の有志が集まり発足しました。子どもたちと一緒に畑づくりを楽しみながら、地域を盛り上げる活動を続けています。

活動は畑だけにとどまりません。小学校での授業支援をはじめ、清水町老人クラブと協力して、学童保育や大堀保育所にも足を運び、子どもたちとの交流を大切にしています。地域の子どもたちを見守りながら、顔の見える関係づくりをつづけています。

緊張なんていらぬ関係

この日の苗植えでも、子どもたちは緊張した様子を見せることなく、地域のおじいちゃん、おばあちゃんや自然に会話を交わしていました。

「ここに植えるんだよ」、「こうやって土をかけるんだよ」そんなやり取りがあちこちで見られ、学校の授業でありながら、どこか家庭的で温かな雰囲気にも包まれていました。苗の植え方を教わりながら一緒に作業する姿からは、日頃から築かれている信頼関係が感じられました。

地域の未来を育てる活動

畑楽会が育てているのは、サツマイモだけではありません。畑での活動を通じて育まれているのは、地域の人と人とのつながりです。苗を植える時も、水やりをする時も、収穫を楽しむに待つ時も、そこには子どもたちと地域の大人たちとの会話が溢れます。「学校ではどうだ?」、「大きくなつたね」、「上手に植えられたね」そんな何気ない言葉のやり取りが、子どもたちにとっては地域に見守られている安心感につながり、高齢者の方々にとっては社会とのつながりや生きがいにつながっています。

近年は人口減少や少子高齢化の影響により、地域の中で世代を超えて交流する機会が少なくなっています。子どもたちが地域の大人と接する機会も、高齢者が子どもたちの成長を間近で感じる機会も、以前に比べると決して多いとは言えません。だからこそ、畑楽会の活動には大きな意味が





道の駅もがみ感謝祭が開催されました

6月6日、道の駅もがみにおいて、感謝祭が開催されました。道の駅もがみは、令和5年にオープンし今年で3年目を迎えます。山形県の東の玄関口として、町の魅力を発信する等、多くの役割を果たしています。

イベントには県内外から多くの方々が来場し、くじ引き抽選会が賑わいを見せていました。県外から訪れた方は、何度も来ていて今回のようなイベントをもっと沢山やってほしいなどと話す方もいました。

ベストを目指して駆け抜ける 最上町ロードレース大会

6月7日、最上西公園特設コースを会場に「2026最上町ロードレース大会」が開催されました。参加者は町内外から合わせて108名。また、大会には県縦断駅伝 新庄・最上チームの板垣 新一監督や、奥山 智広選手、野口 颯選手、菅 一生選手ら最上町出身のランナーがペースメーカーをつとめ、たいへん盛り上がりました。沿道からのたくさんのご声援、ありがとうございました。



まちトピ town topic

第70回山形県縦断駅伝 新庄最上チーム 2年連続6位入賞

沿道からのご声援、ありがとうございました！

大会結果（総合順位）

優勝：山形 16：06：51 6位：新庄最上
2位：南陽東置賜 16：13：09 16：46：18
3位：天童東村山 16：27：46



2日目14区（尾花沢～村山）を力走する奥山選手

4月27日から29日にかけて開催された第70回山形県縦断駅伝競走大会において、町出身の3選手がチームの一員として力走し、2年連続となる総合6位入賞に貢献しました。

出場したのは、初日1区と2日目12区を走った野口颯選手、初日8区と2日目14区を走った奥山智広選手、初日7区と2日目19区を走った菅一生選手の3人。それぞれが託された区間で懸命な走りを見せ、チームのたすきをつなぎました。

中でも奥山選手が担当した初日8区と2日目14区は、大会区間の中でも特に距離が長く、8区は全区間で最長の20.2キロ、14区は18.1キロで2番目に長い区間として知られています。厳しい区間でも粘り強い走りを見せ、チームを支えました。

奥山選手は「今大会では長い距離の区間を任せてもらいました。実力をすべて出し切れたわけではありませんが、2年連続で6位入賞に貢献できてよかったです。沿道やさまざまな場面で応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。」と大会を振り返りました。

選手たちは、多くの声援に支えられながら3日間の大会を走り抜きました。今後も町民の応援を力に、さらなる飛躍が期待されます。



人権の花運動 小中学校で花の植栽

最上町人権擁護推進協議会では、毎年、生徒や児童と協力して花を植栽しています。育てることを通じて、命の大切さや相手への思いやる気持ち、また、「基本的人権を尊重する精神」を身につけてもらうことを目的として、『人権の花』運動を実施しています。

今年度も、町内の小中学校において、合わせて420本の『人権の花』が植えられ、各学校の玄関前などに飾られました。



最上中学校でもがみ南部商工会 青年部の皆さんが奉仕活動

6月1日、もがみ南部商工会青年部の皆さんが、最上中学校で奉仕活動を行いました。この活動は、商工会青年部全国統一事業「絆」感謝運動として毎年行われているものです。今年の活動では中学校敷地内の花壇整備を行いました。ボランティア活動にご協力いただいた、商工会青年部の皆さん、ありがとうございました。

花でつながる赤倉温泉をめざして

赤倉温泉町内会では、町内会の各組織（公民館、産直ゆけむり、振興対策協議会、振興会、商工会、観光協会等）が一丸となって、赤倉菖蒲園を「赤倉温泉 Flower link 園」にリニューアルし、にぎわい・憩いのエリアとする景観づくりに取り組んでいます。

5月17日から本格的な作業が始まり、重機での菖蒲の掘り起こしと施肥・耕うん、菖蒲の株分けと植え付け、31日には、ローズマリーやサルビア、マリーゴールド等の花苗800本の定植作業が行われました。この間、延べ80名余りの皆さんの協力を得て、1年目の計画は順調に進んでいます。



ワイルドエドベンチャースクールで 大場満郎さんと自然を満喫

6月6日、放課後子ども教室「ワイルドエドベンチャースクール」で、田植え体験&トレッキングが行われました。この活動は冒険家の大場満郎さんが、子どもたちに自然の大切さや魅力を感じてもらおうと企画したものです。田植えに挑戦した後、山刀伐峠の山道をゆっくり登りながら季節の草花や生き物を観察しました。子どもたちは地域の方々から田植えの方法や山の知識を教わりながら、自然を体験する貴重な時間を過ごしていました。



広報もがみは、町の今を記録し、未来へつなぐタイムカプセル

あの日のもがみへ

— 広報でたどる、まちの歩み —

「あの日のもがみへ」では、過去の広報紙をひもときながら、その時代に起きた出来事や人々の思いを振り返ります。何気ない日常の一場面も、時を経ることによってかけがえのない記録となり、私たちに多くの気づきを与えてくれます。あの日のもがみに触れながら、これからの町の姿にも思いを重ねてみませんか。



シリーズ2
5月号から
シリーズでお届け
しています



昭和
47年
6月号

赤痢菌に町民87人が感染

昭和47年、町を包んだ感染への不安

覚えていますか。昭和47年6月、当時の広報もがみには、町内で発生した「集団赤痢」について大きく掲載されていました。感染のきっかけとなったのは、大堀児童館で確認された23人の感染。当時の児童館は、現在の学童保育のように、放課後に子どもたちが集団で過ごす場所でした。その後、感染した児童の家族にも検査が行われ、町内の感染状況が少しずつ明らかになっていきます。最終的に確認された感染者は87人。まだ衛生環境が今ほど整っていなかった時代、山から引いた水や流れ水で野菜を洗い、夏になれば家の中にはハエが飛び交っていました。記事の中でも、そうした生活環境や感染の原因に触れながら、感染拡大への注意が呼びかけられています。

当時の広報紙には、「手洗いの徹底」や「食品衛生への注意」、「早期診断と治療」など、感染予防への呼びかけが並びます。現在60代から80代となった方々の中には、当時、小学生として、あるいは子育てをする親として、その時代を過ごした方も多いの

ではないでしょうか。

「外から帰ったら手を洗いなさい」「生水は飲むな」。そんな言葉を、家族や学校から繰り返し聞いた記憶がある方もいるかもしれません。

そして半世紀後、私たちは新型コロナウイルスという別の感染症と向き合いました。赤痢と新型コロナウイルスでは、感染の仕方も予防の方法も異なります。それでも、正しい知識を持ちながら地域で感染を防ぎ、大切な人を守る姿勢は、時代を越えてどこか重なって見えます。「感染を広げたくない」「家族を守りたい」という思いは、今も昔も変わらなかつたのかもしれない。



check!
赤痢とは
どんな病気
だったのか

赤痢は、細菌によって引き起こされる感染症で、発熱や腹痛、激しい下痢、血便などの症状を伴う病気です。特に子どもや高齢者では重症化することもあり、当時は集団感染への警戒が強く呼びかけられていました。現在では抗菌薬による治療法が確立されており、早期に適切な治療を行うことで重症化を防ぐことができます。

しかし、日本国内でも赤痢が完全に無くなったわけではありません。現在でも、海外渡航先などで感染し国内で確認されるケースが毎年報告されています。



冬の間お休みがちだったサロンや100歳体操が雪解けとともに再開される地区がある一方、農繁期を迎える春から夏にかけては隔週開催となる地区もあり、これらの活動にも地域ごとの暮らしに合わせた特色が感じられます。また、季節ごとの生活リズムが活動内容にも反映されているように感じます。



野頭サロンにお伺いし交流してきました

春とともに再開する 地域の輪

一々に築かれるものではなく、長い年月の中で育まれてきた地域の大切な財産であると思います。こうしたつながりを今後も大切に守っていきたいと感じています。

今後も「顔の見える関係」を大切にしながら地域活動に寄り添っていきたいと思いますので、皆様お気軽にお声がけをお願いします。



大堀地区集落支援員
石山 薫

「緑の募金運動」ご協力大変ありがとうございました

おかげ様をもちまして、令和8年度は **316,381円** が集まりました
森林環境教育や小学校・幼児教育施設での緑化活動に使わせていただきます

【ご協力いただきました皆様】 敬称略・順不同 募金運動へのご協力に、深く感謝申し上げます。

町内全集落、向町小学校、大堀小学校、結城工務店、(有)本郷自動車、(有)高橋産業、(株)最上テクノ、(株)最上振興、(有)佐々木商店、(株)結城林業、奥山電器店、佐藤電気管理事務所、サンホーム渡部建築、(株)押切鐵工所、(有)丸万管工務所、貢電設、(有)高木建設、(株)結城測量設計コンサルタント、(株)北山建設、建築結城、(株)最上町地域振興公社、(有)最上ケーエス、(株)小川建設、(株)MGM、(有)菅板金店、役場管理職会、地域住民の皆様



お問い合わせ先 農林振興課 43-2150

令和8年度緑の募金運動を4月1日から5月20日までの期間に実施しました。町内の皆様から事業の趣旨をご理解いただき、たくさん募金をいただきました。深く感謝申し上げます。

また、5月20日、向町小学校・大堀小学校の児童代表が役場を訪れ、今年度取り組んだ緑の募金運動の報告と、集めた募金を届けてくれました。集まった募金は、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構に寄付し、全国各地の森林の保全活動や環境保護活動に役立てられます。


さらに、寄付金の半分は、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構から最上町に交付され、町内の各小学校や幼児教育施設での緑化推進活動に活用されることになっております。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

7月の診療予定




6月号から毎月全戸配布していた「最上病院からのお知らせ」は広報もがみに掲載されます

Notice from mogami hospital 最上病院よりお知らせ

眼科は予約制です。
お手数ですが、事前のご予約をお願いいたします。

 <p>内科</p> <p>午前・午後 月・火・水・木・金 夜間診療（内科のみ） 毎週水曜午後6時から</p>	 <p>外科</p> <p>午前 毎週 月曜日 ※橋本医師の7/24の診療は休診</p>	 <p>整形外科</p> <p>午前 第2・4水曜日 毎週 金曜日 ※7/3、7/17、7/31は10時診療開始</p>	 <p>眼科</p> <p>午前 毎週 火・木曜日 予約制</p>	 <p>婦人科</p> <p>午前 毎週 金曜日</p>
---	--	--	--	--

● 受付時間のご案内

	午前の部	午前 8:00～11:30 (整形外科は午前11時まで)
	午後の部	午後 1:30～2:30 (木曜日の午後は休診)
	夜間診療	午後 5:30～7:30 (夜間診療は水曜日のみ)

休日の医療費お支払いの受付について

- ・4月から病院での土・日・祝日の医療費のお支払いの受付は、土曜日のみ（午前8時30分から午後5時まで）となっております。
- ・日曜日及び祝日は、医療費のお支払いの受付は出来ませんのでご注意ください。
- ・急患受付には変更ありません。急患の方はこれまで通り、当院へお電話でご連絡いただき、来院してください。ご理解とご協力をお願いいたします。

問 ご予約・お問合せ 最上町立最上病院 ☎ 43-2112

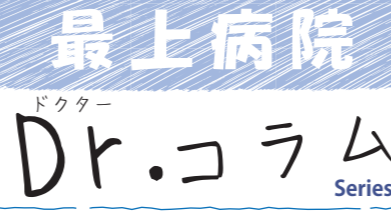
詳細は、最上町立最上病院のホームページをご覧ください。



できることから始める フレイル予防

最上病院 内科 武田卓也 医師

今月号からシリーズでお伝えします



フレイル（虚弱）とは？
日々の生活を健やかに、そして自分らしく送り続けるために、近年注目されている「フレイル」という言葉を存じでしょうか。フレイルとは、年齢とともに身の活力が低下した状態のことです。「健康」と「要介護」の中間の状態を指し、健康寿命を延ばすためには、適切な予防が大切です。

フレイルを構成する3つの側面
フレイルは、単なる体力の衰えだけではなく、「身体的」「精神的」「社会的」の3つの側面が互いに影響し合いながら進行していきます。

1. 身体的フレイル
運動不足や栄養不足により、運動機能が低下した状態です。筋肉量の減少（サルコペニア）や関節の痛みなどが原因となります。また、噛む力や飲み込む力が衰える「オーラルフレイル（お口の衰え）」も含まれます。

2. 精神・心理的フレイル
環境の変化や病気などをきっかけに、趣味への関心が薄れたり、何をやるもおっくうに感じたりする状態です。気分の落ち込みが続き、物忘れが増えることもあります。

3. 社会的フレイル
定年退職などにより、地域社会との関わりが希薄になる状態です。

具体的なフレイル予防
フレイル予防には、「栄養」「運動」「社会参加」の3つが大切です。筋肉のもとになる肉・魚・卵・大豆製品・乳製品などのたんぱく質を意識して摂り、1日3食を基本にバランスよく食べることが重要です。また、歯磨きなどのお口のケアに加え、「パ・タ・カ・ラ」と発音するお口の体操も、噛む力や飲み込む力の低下を防ぐために効果的です。

「社会参加」で自分も元気
そして、この3つの中で最も重要なのが「社会参加」です。人との交流は、心と体を元気にする大きな力になります。近所の方とのあいさつや立ち話も立派な社会参加です。外に出て人と会うことで、自然と身だしなみを整えたり、歩いて移動したり、会話によって脳を使ったりと、健康につながる行動が増えていきます。フレイル予防に「早すぎる」「遅すぎる」はありません。できることから、今日から始めてみましょう。

子どもたちの未来を考える、 教育座談会を開催します

教育環境整備検討委員会で方針を確認

5月22日に第4回教育環境整備検討委員会を開催しました。委員会では、昨年度実施したアンケート結果を踏まえ、町の子どもたちにとってより良い教育環境のあり方について検討を進めました。

今年度は、保護者や地域の皆さんの声を大切にしながら検討を進めていくこととし、その一環として7月から8月にかけて教育座談会を開催します。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。



本町の子どもたちの未来のために「より質の高い新しい教育環境とは」、「保護者の願い」、「地域の願い」について、みんなで考えてみませんか。

教育座談会（全6回）を 各施設、学校区で開催いたします

- 対象** ①、②、④、⑤は、小中学生及び未就学児の保護者の方々、③、⑥は、地域の方となたでもご参加いただけます。
- 内容** 再編に向けた今後の方向性について

対象	日時	場所
① 大堀保育所 保護者	7月 2日（木） 18:30～	大堀保育所
② 大堀小学校 保護者	7月 7日（火） 18:30～	大堀小学校
③ 大堀小学校区 地域の方	7月14日（火） 18:30～	大堀地区公民館
④ あたごこども園 保護者	7月16日（木） 18:30～	あたごこども園
⑤ 向町小学校 保護者	7月23日（木） 18:30～	向町小学校
⑥ 向町小学校区 地域の方	8月 4日（火） 18:30～	中央公民館

皆様のご参加、
お待ちしております

この記事の
お問い合わせ 最上町教育文化課 43-2053
最上町こども支援課 43-2247

国民健康保険をやめる手続きを忘れずに！

新たに働き始めた職場の健康保険へ加入した際は、国民健康保険をやめる手続き（資格喪失届）が必要です。手続きをしないと、職場の健康保険と国民健康保険の両方に加入していることになり、保険料に加えて国保税も支払う重複課税が起こる場合がありますので忘れずに手続きを行いましょう。また、退職等で職場の健康保険を脱退された場合は、国民健康保険に加入する手続きが必要です。

国民健康保険の手続きは、役場1階の町民税務課町民生活室または、健康センターで行うことができます。

<国民健康保険の資格を喪失するとき>

職場の健康保険に加入、
または家族の健康保険の被扶養者になったとき

【手続きに必要なもの】

- 新たに加入した健康保険の資格確認書または資格情報のお知らせ
- 資格異動される方のマイナンバーが分かるもの
- 印鑑

※資格確認書または資格情報のお知らせは加入した方全員分が必要です。

<国民健康保険の資格を取得するとき>

職場の健康保険をやめたとき、
または家族の健康保険の被扶養者から外れたとき

【手続きに必要なもの】

- 健康保険・厚生年金保険被保険者証資格等喪失連絡票
- 資格異動される方のマイナンバーが分かるもの
- 印鑑

○お問い合わせ先 医療介護保険室（内線609）

「認知症になっても安心して暮らすことのできるまちづくり」を目指して！

「認知症になったら、もう何もできなくなってしまうのではないか」そんな不安を抱えていませんか？いま世界中で「認知症」に対する考え方が大きく変わろうとしています。

令和6年1月に認知症基本法が施行され、認知症になったら何もできなくなるのではなく、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりを持ちながら自分らしく暮らすことができるとする考え（新しい認知症観）が示されました。認知症の人も安心して暮らせる地域にするために、この新しい認知症観を一人ひとりが自分ごととして理解することが大切です。

「何かおかしい？」「もしかしたら…」と気づいたら、できるだけ早くかかりつけ医や地域包括支援センター等の相談機関に相談し、専門家の助言を受けることが大切です。また、町では認知症に関する様々な事業に取り組んでいますのでご参加ください。



認知症に関する事業について

- ・介護予防教室
- ・認知症カフェ事業
- ・認知症サポーター養成講座
- ・もの忘れ相談、成年後見制度相談会
- ・認知症初期集中支援チーム事業
- ・徘徊高齢者おかえり安心登録事業等

○介護や認知症に関する相談、事業の詳細に関するお問合せ先 地域包括支援センター（内線605）

認知症の相談窓口

地域包括支援センターは、認知症が疑われる人や介護に関する悩み、健康、生活に関する悩み等の相談窓口です。また、認知症地域支援推進員（※）を配置しています。「どこに相談するのがわからない」といったお悩みも、まずはご相談ください。

（※）認知症地域支援推進員とは、地域の実情に応じて医療機関・介護サービス事業所・地域の支援機関をつなぐ役割を担い、認知症の方やその家族を支援します。

令和8年度風しん抗体検査の助成について

風しんとは、風しんウイルスによる感染症です。妊婦さんが妊娠初期にかかる、心臓病、白内障、難聴など（先天性風しん症候群）の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があるため特に注意が必要です。

そこで、町では風しんを防ぐための抗体検査（血中に抗体があるか調べる検査）や予防接種の費用を助成しています。

対象者

最上町に住所を有する方で、

（1）昭和51年4月2日～平成7年4月1日生まれの妊娠を希望している女性と、その夫および同居家族（※夫と同居家族の方は年齢の指定はないが、妊娠を希望している女性の抗体価が低いことが判明した後の申請となる。）

（2）抗体が不十分な妊婦の夫および同居家族

（※ただし妊娠中の方及び妊娠している可能性のある方、過去に風疹抗体検査を受けている方、風疹に罹ったことがある方、予防接種を2回実施したことがある方は対象外となります。）

申請方法

（1）申請先 最上町健康センター（健康福祉課）

（2）申請に必要なもの

「印鑑・身分証明ができる書類（マイナンバーカード・運転免許証等）・母子健康手帳」

※対象者（2）に該当する方は、同居している妊婦が抗体不十分であることが証明できる書類も持参ください。

（3）申請期間 令和8年4月1日（水）～ 令和9年2月12日（金）

（4）抗体検査期間 令和8年4月1日（水）～ 令和9年3月31日（水）

※抗体検査期間は、抗体が不十分だった方は予防接種を含めた期間となります。

妊娠中に風しん抗体が不十分であった方

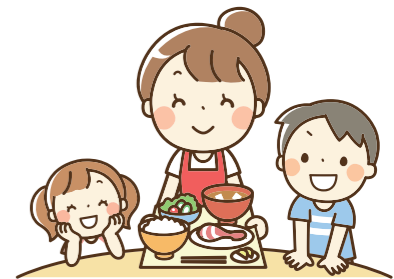
出産後、風しん抗体が不十分であったことが証明できる書類を持参し申請すると予防接種費用のうち5,000円を助成します。

○お問い合わせ先 健康づくり推進室（内線607）

6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です

食べることは生きることであり、健康な身体と心を育むことにつながります。令和4年県民健康・栄養調査の結果、食塩平均摂取量（20歳以上）は、男性11.6g、女性9.7gで、1日の食塩摂取目標量（男性7.5g未満、女性6.5g未満）をかなり上回っています。減塩することで、高血圧を予防し、脳卒中や心臓病などの病気になるリスクを下げます。漬物の量を半分にする、麺類のスープを半分残す、しょうゆやソースはかけずにお皿にとる、減塩の調味料を活用するなど、塩分を減らす工夫をしてみましょう。

最上検診センター（新庄市）会場の健診では、「推定食塩摂取量検査」を受けると、尿検査で1日あたりの塩分摂取量がわかりますので、ぜひご活用下さい。



郷土料理集「伝えたいもがみの味」好評発売中！！

1冊 1,000円（税込）

健康福祉課までお問合せ下さい。

○お問い合わせ先 健康づくり推進室（内線607）

カスタマーハラスメント対策を 進めています

～職員と町民を守るために、安心して利用できる窓口を目指します～



令和8年10月1日から、改正労働施策総合推進法により、事業主にはカスタマーハラスメント防止のための対策を講じることが義務付けられます。

町では、町民の皆さんに安定した行政サービスを提供し続けるとともに、職員が安心して働くことができる職場環境を守るため、カスタマーハラスメント対策マニュアルを策定し、職員研修を実施しました。
なお、今後も町民の皆さんからのご意見、ご要望、苦情などを大切な声として受け止め、これまでどおり丁寧に対応していきます。

誰もが安心して利用できる窓口環境を守るための取り組みです

一方で、次のような行為は、窓口を利用する他の町民の皆さんへの対応や、職員の業務に支障を及ぼすおそれがあるため、**カスタマーハラスメントに該当する場合があります。**

カスタマーハラスメントに該当する行為の主な例

 大声で怒鳴る、机やカウンターをたたくなどの威圧的な言動	 「馬鹿」「税金泥棒」などの侮辱的な発言	 「殺すぞ」などの脅迫的な発言	 同じ内容を長時間又は繰り返し主張し、対応を拘束する行為
 職員個人を名指しして攻撃する行為	 土下座や過度な謝罪、金品などを不当に要求する行為	 職員や窓口の様子を無断で撮影し、SNS等に投稿しようとする行為	 退去をお願いしても、正当な理由なく居座る行為

町の対応

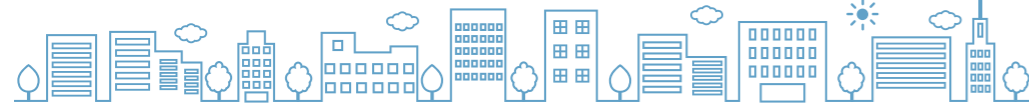
このような行為があった場合には、複数の職員で対応する、対応を終了する、退去をお願いする、必要に応じて警察等の関係機関に相談・通報するなど、組織として対応します。

窓口をご利用なさる皆様へ

カスタマーハラスメント対策は、職員だけを守るためのものではありません。窓口を利用する他の町民の皆さんが、安心して相談や手続きを行える環境を守るためにも必要な取組です。誰もが安心して利用できる窓口づくりのため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



お問い合わせ先
総務企画課総務庶務室
0233-43-2111



令和8年度 最上町職員採用試験

採用職種・採用予定者数	試験内容
<ul style="list-style-type: none"> 初級行政職 …… 3名 保健師 …… 1名 	<p>1次試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容: 一般教養試験・適性検査 試験日: 令和8年9月20日(日) 会場: 最上町中央公民館 <hr/> <p>2次試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容: 作文試験・面接試験 試験日: 令和8年10月下旬予定
申込受付期間	
令和8年 6月29日 (月)～ 7月31日 (金)	

注意事項
保健師は、令和8年度内採用の随時募集も実施しています。随時募集により採用予定者が決定した場合は、本採用試験における保健師区分について、募集を終了、又は試験・採用を行わない場合があります。

募集内容の確認・申込みは、官公庁専用求人サイト「パブリックコネクト」から行ってください。
URL <https://public-connect.jp/employer/129615>

問合せ先 最上町役場 総務企画課 総務庶務室 電話: 0233-43-2111

最上病院 医療職随時募集

最上病院では
看護師 准看護師 薬剤師 を
それぞれ若干名、随時募集しています。

募集内容の確認・申込みは、官公庁専用求人サイト「パブリックコネクト」から行ってください。
URL <https://public-connect.jp/employer/129615>

問合せ先 最上病院 庶務係 電話: 0233-43-2112



6月号 くらしの情報

山形県登録ボランティア仲人「やまがた縁結びたい」募集

「やまがた縁結びたい」とは、結婚を希望する独身男女の出会いの機会を拡大するため、県に登録してボランティアで仲人活動を行なっており、現在県内の約60の個人・団体が登録しています。

▼活動内容 ◇相談者からの相談対応◇相談者にふさわしいお相手探し(定期的な情報交換会への参加)◇お見合いの設定

▼活動経費 活動に対する報酬はありませんが、活動経費の一部(お見合い1件につき500円)を支援金として交付します。

▼登録要件 所定の研修を受講すること。

▼その他 詳細については、「やまがた縁結びたい」のホームページをご覧ください。

お問い合わせ・申込先
やまがたハッピーサポートセンター事務所
0233-61518755



「やまがた縁結びたい」による結婚相談会

▼開催日時 ◇令和8年7月11日(土)◇午後1時～4時45分(1組45分程度)

▼場所 やまがたハッピーサポートセンター最上支所(新庄市)

▼対象 結婚を希望する方またはそのご家族(予約制)

▼内容 婚活の仕方、お見合い相手の紹介などについての個別相談

▼費用 無料

▼申込 令和8年7月8日(水)まで、やまがたハッピーサポートセンター
0233-68711972



親子で楽しむ「MOCOマルシェ」

最上地域みんなで子育て応援団では、就学前のお子さんとそのご家族を対象に「MOCOマルシェ」を開催します。ジャズシンガーやダンス講師によるステージショーのほか、親子で楽しめる体験ブースを用意しています。参加無料・申込不要です。

新庄北高等学校同窓会

山形県立新庄北高等学校同窓会を開催します。卒業生の皆さんのご参加をお待ちしています。

▼対象 新庄北高等学校卒業生

▼開催日時 8月1日(土) ①総会11時30分 ②懇親会12時50分

▼会場 ニューグランドホテル新庄

▼定員 200名程度

▼申込期限 7月18日(土)

○申込・お問い合わせ 柏倉 080-571210343



山形県立致道館中学校 「致道塾」

山形県立致道館中学校では、小学4年生から6年生を対象とした「致道塾」を開催します。小学校の学習や夏休みの宿題、

ので、ぜひご家族そろってご来場ください。

▼開催日時 7月4日(土) 10時30分～13時30分

▼場所 新庄エコロジーガーデン(新庄市)

▼対象 就学前までのお子さんとそのご家族

▼費用 無料(申込不要)

○お問い合わせ 最上地域みんなで子育て応援団事務局(最上総合支庁こども家庭支援課)
02331291245

県立夜間中学校説明会

令和9年4月に開校予定の県立夜間中学について、教育内容や学習環境、入学制度を紹介する学校説明会を開催します。入学を希望する方やご家族など、どなたでも参加できます。

▼日時 7月16日(木) 18時30分

▼場所 ゆめりあ会議室(新庄市)

▼対象 夜間中学への入学を希望する方、そのご家族など

○お問い合わせ 山形県教育局 義務教育課多様な学び推進室
0233-63012407



山形県町村会職員採用試験

山形県町村会では、令和9年4月採用予定の事務局職員を募集します。

○お問い合わせ 山形県教育局 義務教育課多様な学び推進室
0233-63012407

これからの学校を考える教育フォーラム

映画「ゆめバのじかん」の上映会と講演会を通して、教育のあり方や子どもたちの学びや成長、不登校や子ども居場所について考える教育フォーラムを開催します。参加費は無料です。

▼映画上映会場 「ゆめバのじかん」子どもたちが安心して過ごせる居場所をテーマにしたドキュメンタリー映画「ゆめバのじかん」を上映します。

▼日時 8月4日(火) ①15時30分～17時 ②18時30分～20時 ※各回とも上映30分前開場

▼場所 最上広域交流センターゆめりあホール・アーベージュ(新庄市多門町1-1)

▼定員 各回90人(先着順)

▼申込方法 左記QRコードからお申し込みください。



講演会

川崎市子ども夢パーク元所長の西野博之氏を講師に迎え、「子どもが安心して過ごせる場所とは？」をテーマに講演会を開催します。

▼日時 8月5日(水) 10時30分～12時(開場：午前10時)

▼場所 新庄市民文化会館大ホール(新庄市堀端町4-67)

※講演会についてはどなたでもご参加いただけます。

▼対象 子育て中の保護者、教職員、学生、学校教育や子ども居場所づくりに関心のある方など

採用予定日 令和9年4月1日

採用予定人数 若干名

試験日 令和8年8月2日(日)

試験会場 山形県自治会館(山形市松波四丁目1番15号)

受験資格 昭和62年(1987年)4月2日以降に生まれた方で、4年制大学を卒業した方(令和9年3月31日まで卒業見込みの方を含む)。普通自動車運転免許を有する方(採用後直ちに取得できる方を含む)。

募集期間 令和8年7月22日(水)16時まで

申込書配布 山形県自治会館1階窓口で配布するほか、山形県町村会ホームページからダウンロードできます。

○お問い合わせ 山形県町村会事務局
0233-63115155

ヒロシマ・ナガサキ原爆パネル写真展

原爆被害の実相や平和の大切さについて考える「夏の平和展」を開催します。広島平和記念資料館から借用した原爆の絵(複製)や、「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」パネル写真展、新庄最上8市町村の平和都市宣言を展示します。

▼開催日時 7月25日(土) 7月26日(日) 9時～16時

▼場所 最上町立中央公民館大ホール前ロビー

▼内容 ◇広島平和記念資料館からお借りした原爆の絵(複製)展示「被爆体験証言者と高校生徒の共同制作による原爆の絵・被爆体験証言者の忘れられない光景を、美術を学ぶ高校生が描いた絵」◇ヒロシマ・ナガサキ

○お問い合わせ 山形県立致道館中学校
0233512317579



町と東北労働金庫が提携する「生活応援ローン」

最上町と東北労働金庫が提携し、低利で融資する制度です。

▼お申し込み 生活資金全般・自動車購入・教育資金・医療介護費・冠婚葬祭費・家電購入費・空き家の改築・修繕・解体費等、広くご利用いただけます。但し、事業資金、投機目的資金、負債整理資金は除きます。

▼融資対象者 町内にお住まい、または最上町の事業所等にお勤めの勤労者の方で、次の条件に該当する方

▼同一勤務先 1ヵ月以上勤務している方(ただし、勤続1年未満の場合は前勤務先との勤務実績が1年以上あることを確認できる方)

▼お申込時の年齢が満18歳以上ご完済時の年齢が満81歳未満の方

▼安定継続した年収が150万円以上の方

▼融資金額 300万円以内

▼融資金利 固定金利

▼適用金利① 年1.50%～年3.00%

▼適用金利② 年1.75%～年3.25%

※融資金利は商品により異なります。

※適用金利①の対象となる方には、条件があります。

副町長が退任しました

令和8年6月8日付で伊藤勝副町長が退任しました。在任中は町政運営に尽力されました。これまでのご尽力に感謝申し上げます。

最上町クマ情報【5月】

農地で目撃した場合は 町農林振興課 43-2150 へ
住宅地で目撃した場合は 町駐在所 43-2110 へ

■目撃件数 4件 (延べ5件)

■目撃箇所 「上満沢地区」「向町地区」「赤倉地区」

■捕獲頭数 1頭 (延べ1頭)

※山に入る際は音が出るものを携帯し、複数で行動しましょう「遭遇しないことが、最大の対策」



家庭用除雪機の購入補助 始めました

募集期間 令和8年7月末まで



補助金額 購入費用の4分の1以内の額とし、
100,000円を限度とする。

補助対象 専ら除雪作業の用に供するもので次に掲げるもの
①家庭用小型除雪機（除雪幅が600mm以上）
②農耕用機械に接続する除雪用アタッチメント

補助要件
①1台当たりの価格が50,000円以上のもの（中古のものを含む。）
②事業として除雪機等販売を行っている事業所から購入するものであること。
③町内に住所を有し、かつ現に居住している個人の申請であること。
④購入後7年以上補助申請者が所有すること。

詳しくは、最上町建設水道課までお問い合わせください。 ☎0233-43-2015

5月 最上町の人口 戸籍の窓口

全人口 7,028人（うち、外国人128人）
男 3,438人（うち、外国人14人）
女 3,590人（うち、外国人114人）

世帯総数 2,685世帯

生まれた人 2人
亡くなった人 6人
転入 16人（うち、外国人8人）
転出 14人（うち、外国人8人）
前月比 2人減

選挙人名簿登録者数（令和8年6月1日現在）
男 3,084人
女 3,133人 合計 6,217名

もがみ大産業まつり 出店者募集
10月10日（土）、11日（日）に開催される「もがみ大産業まつり」の出店者を募集しています。詳しい募集内容や出店申込方法は、こちらの二次元コードをご確認ください。

◆申込期限 令和8年9月18日（金）

◆出店料
◇飲食物販売 1万5千円（2日間・基本設備）
◇農産物・加工品・工芸品の販売 1万円（2日間・基本設備）

◆出店場所 新庄駅前ふれあい広場アビエス

◆申込先 もがみ大産業まつり実行委員会事務局（株式会社タリーディング・コーポレーション）
〒999-6101 山形県最上郡最上町向町279-13

○お問い合わせ もがみ大産業まつり実行委員会事務局
☎0233-3132-1806

◆詳細はHPへ

◆対象 県内在住の小学4年生～中学3年生

◆募集部門 ◇ポスター部門（絵画）◇のぼり旗部門（文字デザイン）

◆応募締切 9月9日（水）

◆賞 ◇最優秀賞（山形県知事賞）小学生1人、中学生1人
◇図書カード3万円分 ◇優秀賞（山形県教育委員会教育長賞）小学生1人、中学生1人
◇図書カード2万円分 ◇審査員特別賞 小学生1人、中学生1人
◇図書カード1万円分 ◇奨励賞 小学生1人、中学生1人
◇図書カード5千円分

◆応募条件 作品は手書き、またはパソコンやタブレットを使用して制作してください。生成AIを使用した作品は応募できません。応募者本人による未発表のオリジナル作品に限りま

◆その他 最優秀賞作品は、フードドライブを周知するポスターのぼり旗として制作・活用されます。

◆詳細・応募方法 募集要項や応募規格などの詳細は、特設サイトをご確認ください。

○お問い合わせ 一般社団法人 山形県労働者福祉協議会
☎0231-641-6503

◆詳細はHPへ

不正改造は犯罪！ まわりのみんなが迷惑！
自動車は暮らしに欠かせない移動・輸送手段ですが、昨年の交通事故による死者数は2,547人、負傷者数は約33万8千人と、依然として多くの人が事故の被害に遭っています。暴走行為や過積載などを目的とした不正改造車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すだけでなく、排出ガスや騒音など環境悪化の要因にもなっています。また、保安基準に適合しなくなったことに気付かないまま使用されている車両や、車検後に不正改造が行われる事例も見受けられます。

令和5年11月には北海道で、タイヤのみ出しなどの不正改造が施された軽自動車のタイヤが走行中に脱落し、歩行者に衝突して意識不明の重体となる重大事故も発生しました。国土交通省では、車両の安全確保と環境保全を図るため、令和8年度も関係省庁や自動車関係団体と協力して「不正改造車を排除する運動」を全国で展開しています。東北運輸局では6月を「不正改造車排除強化月間」としてより一層強力に取り組んでいます。皆様におかれましては不正改造車の排除にご協力をお願いします。詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

◆詳細はHPへ

新築・増改築・リノベ・リフォーム・その他修繕工事
住まいの困りごとありませんか？

創立20年安心と信頼の家づくり
結home
株式会社 木づくりの住い結

〒996-0112 新庄市本合海1802-48
TEL:0233-26-2751
Mail:k-yui@yuihome.jp
HP:https://www.yuihome.jp

◆リフォーム・リノベーション・新築 住まいの無料相談承ります
◆市町村・国・県の補助金の申請もお任せ下さい

2026年版 窓リノベ補助金のお知らせ
やっぱり窓が命
窓は省エネの話ではありません。命の話です。
窓リノベで暮らし革命！
最大100万円の補助金で断熱性能アップ。

窓リノベ 補助金還元 **1,600円突破** 2023年累計金額
ウェルスハシモト 取換総額

0120-38-4610
受付 8:00～18:00 / 定休日: 日曜日

新築・リフォームのご相談是非どうぞ！

- 窓の高断熱化で補助金最大100万円（イナ-サツでもOK）
- 断熱リフォーム、水回り、増改築、外壁工事、屋根工事
- 最上町や国の補助金は無料で申請します

株式会社 鈴木工務店
最上町大字志茂 210-18 (0233)44-2316 https://suzuki-ie.com